

船橋市教育委員会会議 11月定例会会議録

1. 日 時 平成23年11月18日(金)

開 会 午後3時00分

閉 会 午後4時15分

2. 場 所 教育委員室

3. 出席委員 委 員 長 中 原 美 恵  
委員長職務代理者 篠 田 好 造  
委 員 山 本 雅 章  
委 員 石 坂 展 代  
教 育 長 石 毛 成 昌

4. 出席職員 教育次長 阿 部 裕  
管理部長 石 井 雅 雄  
学校教育部長 魚 地 道 雄  
生涯学習部長 高 橋 忠 彦  
管理部参事兼総務課長 二 通 健 司  
学校教育部参事兼学務課長 藤 澤 一 博  
財務課長 泉 對 弘 志  
施設課長 千々和 祐 司  
指導課長 鈴 木 正 伸  
保健体育課長 岩 村 彰 喜  
総合教育センター所長 山 本 稔  
社会教育課長 小 川 佳 之  
文化課長 武 藤 三 恵 子  
青少年課長 村 山 茂  
生涯スポーツ課長 加 納 誠 一  
市民文化ホール館長 田久保 里 美  
飛ノ台史跡公園博物館長 江 口 勇 一  
総合教育センター教育支援室長 成 田 勤

5. 議 題

第1 前回会議録の承認

第2 議決事項

議案第42号 平成24年度船橋市立船橋特別支援学校高等部入学者募集・選考要項について

第3 臨時代理

報告第7号 平成23年度船橋市一般会計補正予算(教育に関する事務に係る部分)について

報告第8号 平成23年度船橋市一般会計補正予算(教育に関する事務に係る部分)について

報告第9号 船橋市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例について

第4 報告事項

(1) 市立船橋高等学校全国大会出場等の報告について

(2) 平成23年度第25回船橋市小中学校合唱発表会について

(3) 西安市学校間友好交流(作品交流)について

(4) ヘイワード市との学校間交流について

(5) 第47回船橋市中学校総合体育大会(駅伝の部)の結果報告について

- ( 6 ) 第 2 1 回教育フェスティバル実施報告について
- ( 7 ) 第 5 7 回船橋市合唱祭について
- ( 8 ) 2 0 1 1 船橋市民マラソン大会の実施報告について
- ( 9 ) 船橋市民文化ホール・2 月から 5 月までの改修工事期間における休館について
- ( 1 0 ) 第 7 回千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展の開催について
- ( 1 1 ) その他

## 6 . 議事の内容

### 【委員長】

ただいまから教育委員会会議 1 1 月定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認についてお諮りいたします。

1 0 月 2 1 日に開催いたしました教育委員会会議 1 0 月定例会の会議録をコピーしてお手元にお配りしてございます。よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

### 【各委員】

異議なし。

### 【委員長】

異議なしと認めますので、当該会議録について承認いたします。

それでは議事に入りますが、報告第 7 号、報告第 8 号及び報告第 9 号については、同規則第 1 4 条第 1 項第 4 号の「市長又は議会に対する意見の申出及び市長その他の関係機関との協議等を必要とする事項」に該当いたしますので、非公開としたいと思っております。ご異議ございませんでしょうか。

### 【各委員】

異議なし。

### 【委員長】

では、異議なしと認めますので、当該議案を非公開といたします。

それでは、議事に入ります。

初めに、議案第 4 2 号について、総合教育センター、説明をお願いします。

### 【総合教育センター所長】

「平成 2 4 年度船橋市立船橋特別支援学校高等部入学者募集・選考要項について」ご説明申し上げます。

船橋市立船橋特別支援学校管理規則第 2 2 条の高等部に入学する生徒の募集及び入学者の選抜の方法について、必要な事項は教育委員会が別に定めることになっており、船橋市教育委員会組織規則第 3 条第 1 4 号に基づきまして議決いただくものでございます。

募集要項につきましては、本年度新たに県の入試要項が整備されました。そこで、市の要項につ

きましても募集定員等を見直すとともに、県立特別支援学校入学者募集・選考要項にあわせて変更をいたしました。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

**【委員長】**

変更事項については、新旧対照表で確認をすればよいということでしょうか。

**【総合教育センター所長】**

新旧対照表をご覧ください。大きく変わった点が2つございます。

一つは募集定員、今まで「若干名」と表現しておりましたけれども、「特に定員を設けない。」ということにしました。

もう一つ、願書の受け付けの締め切り日でございますけれども、知的障害者を教育する特別支援学校の専門学科及び普通科（職業コース）を二次選考の発表後に延ばしたことでございます。

**【委員長】**

説明はそれでいいですか。

入学定員の件については、昨年も山本委員からご質問があって、適切に変更という形になったんでしょうかね。若干名から変更したということですね。

ただいま説明がありましたけれども、ご意見とかご質問ございましたらお願いしたいと思います。

**【山本委員】**

一つ、7ページの4の(1)の「健康診断」という文字の間があいてしまっています。

あと、かなり今までよりも明文化されているといいですか、きちり書かれているんですけども、これは県に準じるという話で、何か指摘などがきたからですか。それともただ県に準じるということでこのように明文化したんですか。

**【総合教育センター所長】**

特にご指摘を受けた点はございません。県の要望が少しずつ整備されてございますので、それにあわせて変更したということでございます。

**【委員長】**

よろしいでしょうか。

それでは、議案第42号「平成24年度船橋市立船橋特別支援学校高等部入学者募集・選考要項について」を採決いたします。ご異議ございませんでしょうか。

**【各委員】**

異議なし。

**【委員長】**

異議なしと認めます。議案第42号については原案どおり可決いたしました。  
続きまして、臨時代理の報告に入りたいと思います。  
初めに、報告第7号及び報告第8号について、総務課、ご報告願います。

報告第7号「平成23年度船橋市一般会計補正予算（教育に関する事務に係る部分）について」及び報告第8号「平成23年度船橋市一般会計補正予算（教育に関する事務に係る部分）について」については、総務課長及び施設課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

では、続きまして報告第9号に移りたいと思います。  
生涯スポーツ課、報告願います。

報告第9号「船橋市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例について」については、生涯スポーツ課長から説明後審議に入り、全員異議なく原案どおり可決された。

**【委員長】**

ありがとうございます。  
それでは、報告事項の（1）から進めたいと思います。報告事項（1）について、学務課からでしょうか、報告をお願いいたします。

**【学務課長】**

市立船橋高等学校の全国大会出場等についてご報告いたします。お配りいたしました資料の59ページになります。

お配りしました資料には記載されておきませんが、まず体操競技部について報告いたします。

今年度は、全日本高等学校総合体育大会、それから全日本ジュニア選手権大会、第66回国民体育大会と、全国大会、団体3冠を達成し、さらに社会人、大学生とともに11月4日から6日まで行われました第65回全日本体操競技選手権大会に出場し、6位の成績でございました。

また、体育科3年生の野々村笙吾君ですが、11月13日にドイツのシュツットガルトで行われましたF I Gワールドカップシリーズ2011DTBポカール大会に日本代表として出場し、見事に優勝いたしました。

26、27日にワールドカップ東京が開催されますが、こちらには世界選手権個人総合3連覇中の内村選手が出場予定とのことでございます。

資料の男女バレーボール部ですが、昨年度から3年生も出場できるようにと開催月を1月に変更された春高バレーの愛称で親しまれております全日本バレーボール高等学校選手権大会への出場を、男女ともに決勝戦に臨みました。残念ながら男子は市立習志野高校に負けてしまいましたが、

女子は昨年の覇者柏井高校と最終セットまでもつれ込み、お互い譲らない試合内容で、大接戦の末、見事2年ぶり、21回目の全国大会への出場を果たしました。前回出場したときは全国第3位及び入場行進賞というのをいただきましたので、今回もプレーだけではない、高校生らしい姿を期待しております。

それから、吹奏楽部でございます。11月20日に大阪城ホールで開催されます第24回全日本マーチングコンサートに、東関東代表として市立柏高校、市立習志野高校とともに出場いたします。3年連続金賞受賞を目指しております。

なお、定期演奏会が12月25日の日曜日に習志野文化ホールで行われます。3年生にとっては最後の演奏会となりますので、ぜひ足を運んでいただければというふうに考えております。

次に、陸上、駅伝でございます。昨年男子が出場しました全国高等学校駅伝競走大会ですが、今年は男女ともに第3位でした。しかし、男子は3区、6区で区間賞をとるなど検討いたしました。男女ともに明日、神奈川県丹沢湖で行われます関東高等学校駅伝競走大会に出場します。

ラグビー部につきましても、花園ラグビー場で行われる全国高等学校ラグビーフットボール大会の出場に向け、13日に行われました準決勝では佐倉高校に34対0で勝ち、明日の決勝戦に駒を進めております。対戦相手は今年も流通経済大学附属柏高校でございます。2月の新人大会では勝利しておりますので、今回も期待したいと考えております。

最後に、サッカー部でございます。全国高校サッカー選手権大会の出場に向け、20日に市立習志野高校と準決勝を戦い、勝ち進んだ場合は26日に幕張総合高校か流通経済大学附属柏高校の勝者と決勝戦を争う予定でございます。

以上、市立船橋高校の部活の関係の報告でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。この時期になるといつも大活躍のご報告をいただいて、本当にうれしく思いますが、皆様からのご質問やご意見はいかがでしょうか。まだまだ全国大会、本番のところからこれからあります。よろしいですか。

それでは、続きまして報告事項(2)から(4)まで、指導課から報告をお願いします。

#### 【指導課長】

指導課から3点報告させていただきます。

初めに、資料61ページから64ページをご覧ください。

平成23年度第25回船橋市小中学校合唱発表会についてご報告いたします。

先週、11月12日土曜日に船橋市民文化ホールにおきまして開催いたしました。子どもたちの参加人数は、午前の部、午後の部合わせまして約1,300人となりました。また、保護者席が2階席に用意されていましたが、ほぼ満席の状況でございました。

小中学生の合唱の終わりに東京混声合唱団というプロの演奏を鑑賞しましたが、大人のプロの合唱に会場の子もたちも真剣に聴き入っております。すばらしい厚みのあるハーモニーは子どもたちの心に残るものとなったことと思います。

本市は「器楽が盛んな船橋」というイメージから、「合唱も盛んな船橋」として、さらに盛んな音

楽教育が展開できるよう、今後指導・助言してまいりたいと思っております。

続きまして2点目でございます。資料65ページ、西安市との学校間友好交流についてでございます。

本年度は児童生徒の作品交流の年となっております。作品交流開始以来、この交流活動に参加している友好校である市場小学校、船橋中学校、市立船橋高等学校、そして国際理解教育の研究指定校である葛飾小学校と葛飾中学校の5校による作品、書写38点、絵画36点、技術家庭科の木工作品2点、手芸作品5点を西安市の大雁塔小学校、育才中学校、第八十五中学校に郵送いたしました。また、西安市からの作品は11月28日から12月9日まで市役所1階ロビーで展示を、その後、友好校5校への展示を予定しております。

また、来年度の学校間交流は2年をサイクルに行っている直接交流でございます。来年は西安市より教育友好使節団51名を迎える予定となっております。日程につきましては、平成24年7月9日月曜日から7月13日金曜日までの5日間を計画し、現在指導課を中心に準備を進めているところでございます。

最後に、資料67ページ、 Hayward市との学校間交流について報告いたします。

本年度、船橋市とHayward市の姉妹都市交流事業が25年目を迎え、カリフォルニア州Hayward市において記念事業が行われました。市長を団長として、教育委員会からも阿部教育次長、指導課の掛村指導主事が同行し、主に学校間交流に関する話し合いを行いました。Hayward市と本市の間では、既に市立船橋高校とモロー高校が生徒派遣を含めた交流を続けているところでございますが、このたび小中学校間においても交流事業を始めたいということで、直接交渉してまいりました。

本市の本事業に関しましては、西海神小学校及び宮本中学校を交流校として選定し、両校から学校紹介や写真などを預かり、Hayward市に持参いたしました。

学校間交流の開始に当たっては、本市国際交流室を窓口とし、Hayward市側におきましては姉妹都市委員の鶴本ご夫妻とヘスス・アーマス教育委員にお骨折りをいただき、Hayward統一学区教育委員会のジャンス・デュラン教育長より小中各1校をご紹介いただきました。

今回の訪問では、ご紹介をいただいたエデン・ガーデンズ小学校とマーチン・ルーサー・キング・ジュニア中学校を藤代市長とともに訪問し、両校の校長と具体的な交流について協議をいたしました。本市がこれまで重点的に取り組んできた英語教育や国際理解教育をさらに発展させるとともに、両市の交流を深めることにつながればと考えております。詳細については、今後、両校の校長間で調整をしながら決定していく予定でございます。教育委員会といたしましても、指導課が調整役を果たしながら、末長い交流事業が展開されるよう取り組んでまいります。

指導課からの報告は以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。3件ございましたけれども、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

合唱発表会の件で、昨年も何か講師の先生からこんなコメントをいただいたというご紹介があったように記憶しているんですけども、今年はどんな感じだったんでしょうか。

【指導課長】

午前の部が終わったところで全体をまとめた講評と、あと最後にもう一人の講師の方が講評を述べるという形で、具体的な文言については今把握しておりません。申しわけございません。

【委員長】

西安市の交流はもう来年7月9日から13日に直接交流ということで、ご準備に入られているということですね。

【指導課長】

はい。予約するところを早急に予約しないと、宿泊施設や見学地等の確保の問題がございますので、もう準備に入っております。

【委員長】

ハイワード市との交流は25周年という節目のところなので、小中学校間の交流も新しい事業として立ち上げるということで、いろいろとご尽力をいただいたようです。子どもたちにとっていいチャンスがふえるのはうれしいですね。よろしいですか。

ありがとうございました。

続きまして、報告事項(5)について、保健体育課、報告をお願いします。

【保健体育課長】

報告事項(5)第47回船橋市中学校総合体育大会(駅伝の部)の結果を報告いたします。資料の70ページからになります。

10月22日土曜日当日は朝から大変な大雨で、大会の開催が心配されましたが、日中は曇りであるという予報もあり、無事実施することができました。

資料をご覧ください。女子は、習志野台中学校が大会新記録で優勝し、3区間で区間賞をとり、また4区では区間新記録という活躍を見せました。5位の前原中学校までの5チームが県大会に出場しました。

次に、73ページをご覧ください。

男子も大会新記録で、行田中学校が優勝し、女子と同様に3区間で区間賞をとりました。また、2区で習志野台中学校が、4区で高根中学校が区間新記録を出しております。全体としてレベルの高い大会でした。男子は3位の海神中までが県大会に出場いたしました。

次に、代表が参加しました県大会の報告をさせていただきます。本日お配りしました資料をご覧ください。

11月6日日曜日、県立柏の葉公園で県内の各地区の代表48校が参加して行われ、船橋代表の成績は資料のとおりでございました。この大会の入賞は男子の高根中学校のみでしたが、高根中学校は2年連続入賞と健闘をしたのではないかなというふうに考えております。

女子は習志野台中学校が惜しくも9位と入賞を逃しましたが、今年度、県大会のレベルが大変高く、去年の記録で見ますと第3位に当たる好記録でございました。委員の皆様のご声援、応援、本

当にありがとうございました。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございます。こちら中学生が大活躍ということですが、ご意見、ご質問等ございますか。先が楽しみですね。よろしいでしょうか。

それでは、報告事項(6)に移りたいと思います。

**【総合教育センター所長】**

資料77ページをご覧ください。第21回教育フェスティバルについてご報告させていただきます。

本年度の来館者総数は、科学論文・工夫作品展及び社会科作品展の事前公開来館者も含め、昨年度より633人増の3,330人でした。石坂委員を初め、多くのご来賓の方々にもお越しいただくことができ、大変感謝しております。

社会科作品展と科学論文・工夫作品展の表彰式では、石毛教育長を初め、教育次長、学校教育部長、審査にかかわりました審査員の先生方にもご出席いただき、表彰状を授与することができました。より多くの学校関係者に作品を見てもらうため、事前公開は今回より実施いたしました。

また、今年新たに特色ある教育活動の紹介を加え、金杉台中学校生徒による太鼓演奏を実施いたしました。迫力のある演奏は大変好評でした。さらに研究校紹介コーナーや幼稚園紹介コーナーを設けておりました。

市立船橋高校のシジミ釣りは昨年度より実施しておりますが、多くの人でにぎわいました。幼稚園から高等学校まで、船橋の教育の姿を多くの方々に見ていただくことができました。来年度は今回の成果と課題をふまえ、さらに充実させてまいりたいと考えております。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございます。いろいろ工夫してくださって、来場される方も随分ふえてよかったですね。石坂さんから何かありますか。

**【石坂委員】**

作品が素晴らしいんです。社会科の作品で市長賞をとられた方は、自分のことを歴女というふうにも言われていましたが、いろんなところに行き行って取材をして、写真もはって、とても厚い作品をつくられたんですね。たくさんの方に来場していただきますけれども、実際に見てみると、迫力が違うので、市長賞、市議会議長賞、教育長賞にかかわらず、いろんなところで作品が展示できれば、子どもたちの創作意欲というものにつながるので、機会があればそうしていただければと思います。

皆さんの目で実際に見てほしいなというぐらい力作ぞろいでしたし、今年の賞ではあったかもしれないですが、また来年展示してもいいと思うんですよね。理科のほうもやっぱり震災関係、

震災後のことだったので、発電して風を起こすとか、そういったものが多かったんですけども、本当にすばらしいものでした。ちょっとしたこういうフェスティバルのようなきっかけがあると、こんなに発明というか、何かできてしまうんだなと思いました。

#### 【委員長】

ありがとうございます。これまでのいろんなスポーツに関する活動もそうですし、社会科や科学に関するものもしっかり先生方がそこを支えながら、子どもたちの力を引き出してくださっているんだなというのは作品を見ると本当に伝わってきます。ありがとうございます。

それでは、次に移ってよろしいですか。

報告事項(7)第57回船橋市合唱祭について、これは文化課からお願いいたします。

#### 【文化課長】

資料79ページになります。第57回船橋市合唱祭です。

12月4日日曜日、船橋市民文化ホールにおいて、教育委員会と船橋市合唱連盟の共同で開催いたします。合唱の楽しさを紹介し、団体相互の交流を図ることを目的に、昭和29年から行われ、今回57回目になります。午前の部は10時から、午後の部は2時から、それぞれ18団体出場し、合わせて36団体になりますが、この団体の多くは日ごろ公民館で活動をしている団体になります。年1回の市民文化ホールの大きな舞台での発表を各団体とも楽しみにしておりますので、日ごろの練習の成果を存分に発揮してくれることと思います。

以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。船橋市合唱祭は57回目ということで、たくさんの市民の方にご参加いただくので、よろしくお願ひします。ご意見はありますか。よろしいですか。

ありがとうございました。それでは報告事項(8)船橋市民マラソン大会の実施報告について、これも雨の影響が心配されましたが、お願ひします。

#### 【生涯スポーツ課長】

報告事項(8)2011船橋市民マラソン大会の実施報告についてでございます。本日お配りしました資料がございます。報告事項(8)と入っております。よろしくお願ひします。

11月12日土曜日、好天気のもと、2011船橋市民マラソン大会が運動公園、陸上競技場周回コースにおいて行われ、中学、高校、年齢別、一般、親子宣言タイムレースの各部ごとに851名の選手が健脚を競われておりました。また、親子宣言タイムレースでは昨年の78組を上回る110組の220名の親子が会場し、親子仲よく手を取り合いながら楽しそうに走って全員が完走され、市民マラソンの競技の普及そして体力の向上を図られ、無事終了することができました。

なお、当日中原委員長様におかれましては、早朝にかかわらず開会式にご臨席賜り、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。ただいまご報告いただきましたけれども、ご質問等ございますか。

雨でコースがどうかというようなことがちょっと心配でしたが、実行委員の方たちが丁寧に調べてくださって、私、開会式の後に皆さんが練習しているコースをぐるぐる回ったんですけども、とてもほほえましくて、親子宣言レースもお兄ちゃんが弟が飛び出さないように一生懸命だったり、それから中学校の先生が熱心に生徒たちの練習に声をかけていたり、そういうのをずっと実行委員の方たちがいろんなところにちらばって丁寧に案内して下さったり、見て下さったり、本当にみんなに支えられて、たくさんの方のいい場になっているんだなと思いました。

高齢の方が、このチャンスに出会われて、走るお仲間の方たちと談笑されていたり、毎年続けられているということはすごく大事なことだなと感じました。ありがとうございます。よろしいでしょうか。

では、続きまして報告事項(9)に移りたいと思います。市民文化ホールから、改修のことですね。お願いします。

#### 【市民文化ホール館長】

このたび平成23年度、それから24年度に継続事業といたしまして、舞台照明設備の改修工事と、客席取替え及びじゅうたん、壁等の改修工事、大きくこの2つの改修工事を行うことになっております。その期間が平成24年2月から、年度明けまして平成24年5月までの4カ月を利用して、この継続経費の事業をやる予定であります。その間、休館にすることについてのご説明です。

工事の内容につきましては、舞台照明設備の改修工事は、こちらは昭和63年以降全く改修をしておりませんでしたので、電子部品や基盤も全く今生産中止となっております、何かあった場合は対処ができない状況になっており、ようやく予算化されて今回の改修工事の運びとなりました。操作卓と操作基盤を改修するんですけども、それによって容量が大きくなりまして、今まで持ち込みをしていただく自主事業の照明の方には制限をつけざるを得ないという状況があったんですけども、この改修工事によりまして、容量も受変電設備のほうも工事しますので、容量は大きくなって、規制もしなくなって、皆様に使い勝手がよくなるように努力をしたということです。

それともう一つは、客席の取替え及びじゅうたん、壁改修なんですけれども、こちらは県内で最も狭く、45センチのいすの幅でした。それを今度、1階部分が50センチ、2階部分が49センチにしまして、1,000席は確保しないと、先ほども指導課長がおっしゃっていましたが、小中学校の授業等になかなか対応できなくなります。極力1,000席は下らないような席にするための努力ということで、1階部分、2階部分が1センチ違うんですが、そういう形で、今よりは4センチ、5センチ幅を広くするという改修工事になりますので、そこが大きな違いになります。

また、そのほかには客席以外にも重い扉ですとかじゅうたんも一新し、利便性・快適性を向上する予定であります。

なお、休館中は文化ホールのリニューアルをPRしようとして一応計画はしているところなんですけど、まだ契約が終わっておらず、工期が決まっておりませんので、やはり工事の音が大きければコンサートができませんので、音の様子を工事の管理者と相談しながら、できる日にPRをしたいと思っ

ております。

以上です。

**【委員長】**

待ちに待った改修が実現するというので、来年が楽しみです。成人式が終わった後ということですね。

**【市民文化ホール館長】**

そうです。

**【委員長】**

続きまして、報告事項（10）飛ノ台史跡公園博物館、報告をお願いします。

**【飛ノ台史跡公園博物館長】**

それでは、報告事項（10）第7回千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展「ムラから村へ 掘りおこす土地の歴史について」ご報告いたします。最後のページ、83、84ページをご覧ください。

船橋市を初め11市の教育委員会で活動しております千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会では、地域の文化財をテーマに文化財発表会を6回開催しておりますが、7回目を迎える本年度につきましては発表会に加えまして、巡回展を開催することになりました。会場は、船橋市、市川市、流山市で、船橋の会場は飛ノ台史跡公園博物館でございます。各市から出土した貴重な資料を一堂に集めまして、千葉県北西部地区の縄文時代から近代に至るまでの村の様相について、わかりやすく展示を行います。船橋市の会期は11月19日、明日から12月25日まででございます。

期間中、27日にはギャラリートークといたしまして、文化課と私どもの学芸員の二人のギャラリートークを開催する予定でございます。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございます。巡回展というのは、これまでもこういう形でされてきているんですか。それとも新しい試みでしょうか。

**【飛ノ台史跡公園博物館長】**

今までは発表会だけでしたが、今回資料を持ち寄って巡回展を開こうということで、初めてでございます。

**【委員長】**

ありがとうございます。いかがでしょうか。資料のチラシもとてもすてきです。たくさんの方が関心を寄せてくださるといいですね。

それでは、その他の報告に移りたいと思います。その他で幾つかご報告事項があるということで伺っております。

#### 【社会教育課長】

社会教育課、2点ほど報告をさせていただきます。

まず1点でございますが、図書館サービス推進計画の策定スケジュールの変更でございます。資料はございません。こちらにつきましては、船橋市の図書館サービスを持続可能なサービスとして今後も提供していくための拠点整備であったりとか効率的な図書館運営ということで計画を策定しているところでございます。こちらにつきましては、本年4月の定例会で説明させていただいているんですが、その策定の経過でございますが、平成21年度から図書館協議会において各委員のご意見をいただきつつ、22年4月から職員プロジェクトを立ち上げて、本年10月の施行を目指して作業を行ってまいりました。しかしながら、3.11東日本大震災の影響で、西図書館が被害を受けたということで、休館していく中で西図書館の建て替えも推進計画の中に盛り込むということで、実施時期を少しずらして、6カ月延ばしまして、平成24年4月施行として再度検討してきたところでございます。

こちらにつきましては、去る7月22日に平成23年度第1回図書館協議会において計画の変更、提案をさせていただいたんですが、その後の10月20日の第2回図書館協議会では、本来最終報告をさせていただいて、その後パブリックコメント等を行って計画を4月に施行する予定でございましたが、この間、取りまとめに向け各方面と協議してまいりましたが、市の上層部のほうから推進計画の骨格となるビジョンや、船橋市の図書館の将来像が十分に描かれていないというご指摘を受けました。また、今後の高齢化社会を見据えた拠点の整備について、今一度議論を深めるべきとのご指摘がございました。そこで、西図書館の整備計画との整合性等も合わせまして、再度図書館推進計画策定スケジュールを延期いたしまして、平成24年2月に開催が予定される第3回の図書館協議会において、最終案をお諮りして、24年3月末に素案を確定させ、24年度の6月議会に議会への報告を行い、7月にパブリックコメントを実施して、平成24年10月に計画を施行してまいりたいというふうに考えております。委員の皆様には策定スケジュールが変更になったということでの今回ご報告でございます。

以上でございます。

#### 【委員長】

今のが図書館サービス推進計画のスケジュールの延期です。事情を今ご説明いただきましたけれども、なにかご質問等ございますか。

#### 【石坂委員】

図書の返却ポストを駅に設置してほしいと市民の方からの要望が出ていますけれども、そのことも入っていますか。

#### 【社会教育課長】

返却ポストについても置くところの整備を進めます。駅等についてはちょっとまだ今後の課題として残っています。あと拠点整備という形で、図書館とオンラインになる図書室の拠点、そういったところが今7カ所あるんですが、7公民館図書室もオンラインで結ばれているんですが、これを12に一旦ふやして、5年後には12にして、その後また検証し、今後の計画を進めていこうという計画をつくっているところです。

【石坂委員】

今の図書の物流というものはすばらしいですね。できれば早く本が返せて、早く次の人に回るように、やはり拠点整備が大切ですね。

【社会教育課長】

全くおっしゃるとおりで、物流をふやしながらか拠点をふやして、図書の回転をよくしながらサービスを検討していこうと思っております。

【委員長】

また案が固まったら見せていただけますでしょうか。

【社会教育課長】

はい。よろしくお願いいたします。

【委員長】

では、よろしいですか。

【社会教育課長】

これも大変申しわけございません。策定スケジュールの変更でございます。こちらにつきましては、本年1月の定例会で一度ご説明させていただいているんですが、第2次船橋市生涯学習基本構想推進計画の策定スケジュールの変更でございます。当初ご説明申し上げていたスケジュールでございますが、こちらにつきましては素案を今年の11月末までに確定させて、この12月議会で議長報告、常任委員会に報告を行って、来年1月にパブリックコメントを経て、24年4月に第2次の推進計画を施行する予定で作業を進めておりました。3月までは順調に各課の取りまとめとか、各課に調査を出しているものを取りまとめた作業を進めていたんですが、その後、大変申しわけないことでございますが、取りまとめの調整がなかなかかからないと、事務局の作業がなかなか進まない状況でございました。

また、市民のご意見を幅広く伺う場として設定いたしました生涯学習推進協議会から、船橋市の今後10年を見据えた生涯学習の基本構想推進計画をつくっていくのに、このタイトなスケジュールでは責任を持って策定することができないと。せつかく携わった以上は十分な討議を経てつくり上げていくことが重要ではないかというご意見もいただきました。

そこで、本部長でございます市長、副本部長でございます副市長等々にご相談申し上げ、協議会

の意見を尊重して十分に意見を聞いた上で策定作業を進めるようご指示をいただきました。

つきましては、こちらについてはお手元に策定スケジュールをお出しさせていただいたんですが、来年度も協議会を継続させて、素案の策定作業を9カ月延ばしまして、24年8月に素案を確定させ、24年第3回定例市議会で議会で報告し、10月にパブリックコメントを実施した後、平成25年1月に施行するスケジュールに変更させていただきたいということで、先日推進本部会議を開催いたしました。委員の皆様のご了解を得たところでございます。

以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。今ご説明いただいたのは、船橋市生涯学習基本構想推進計画の策定のスケジュールの変更ということでございますけれども、お手元の資料にあるとおり、来年度に入って素案がまとまっていくということです。よろしいでしょうか。中身をしっかり検討して、充実させていくということでよろしく申し上げます。

それでは、その他の3点目になりますが、石坂委員にご出席いただきました会議の報告について申し上げます。

#### 【石坂委員】

10月27日に平成23年度市町村教育委員会研究協議会が秋田県の児童会館で行われまして、そちらに行ってまいりましたので報告をいたします。

まず、文部科学省の方から初等中等教育をめぐる最近の動向についてということで説明がありました。学校段階間の連携・接続については中1ギャップとか、今、小4、小5ギャップというのがあるそうなんですけれども、現在、小中学校間の連携・接続について審議中であるというお話でした。

それから、特別支援教育の在り方についてという内容では、本人や保護者の意思を最大限受け入れようという方向で進めたいというお話でした。それから、幼保一体化についてのお話がありました。また、全国学力学習状況調査については、現在では国語と算数、数学の調査ですけれども、平成24年度からは調査科目に理科を追加しようというお話がありました。それから、東日本大震災を受けた防災教育・防災管理についてということで、今後の防災教育の方向性としては、状況に応じて主体的に行動する態度の育成、それから防災管理については学校において教職員等への効果的な研修の推進をしていくというお話でした。

それから、行政説明の後にグローバル社会に対応する人材の育成というテーマで、国際教養大学学長の中嶋嶺雄先生から講演がありました。ご自身が学長を務めている国際教養大学における人材育成カリキュラムを例にお話をさせていただきました。今の日本の大学教育ではグローバル社会に対応できる人材育成は難しいと日本の現状を厳しく指摘していました。国際教養大学での特徴的なカリキュラムによる教育の効用を時間いっぱい話されていました。

日帰りでしたので、半日という短時間の研修会でもございましたけれども、教育行政の方向性ですとか、特徴的な人材育成カリキュラムのお話を聞けましたので、大変貴重な研修を受けることができました。いろいろとありがとうございました。

【委員長】

ありがとうございます。ご質問等ございますか。遠方の会議に行っていたいてありがとうございます。1日で、強行軍ですよ。

【石坂委員】

そうですね。

【委員長】

よろしいでしょうか。

それでは、その他で10月31日と11月1日にわたりまして私どもが今年度の行政視察ということで松山市に伺っておりますので、簡単にご報告をさせていただきたいと思います。

教育委員5名と、それから総務課長の二通さんと6名で行ってまいりました。今回は最初に松山市内の中学校へ松山市の教育委員の方たちが学校視察をされるというところに合流をして、授業を見せていただいたり、それから給食を一緒に食べるというプログラムで、本当に校内の先生方も丁寧にご案内くださいましたし、それから松山市では教育委員の方が学校の半分を1年間で回り、2年かけて全部回るということを順々にやっていらっしゃるらしくて、たまたま私どもが伺うときに市内の内宮中学校というところが視察の対象だったということでした。教育委員の方たちとも親しくお話しさせていただいて、どんなことに力を入れていらっしゃるかという熱い思いをいろいろ伺ってまいりました。

特に松山市としては皆さんもご存じのとおり、たくさん著名で多彩なふるさとからの先達が出ておりますので、そうした人材について子どもたちにきちっと伝えて、ふるさとに誇りを持つということ、やはり自分自身も教育を通して磨いていくということの動機づけを図るプログラムがいろいろ展開されていて、副教材づくりにも力を入れていらっしゃるということで、実際にそれをいただいてまいりました。それがうらやましかったですね。100人を超える語れる人たちがいて、それを子どもたちが特別活動の時間ですとか、道徳の時間ですとかも含めて、いろんなときに取り組むんですけれども、やはりここに生まれて育つことが誇らしいと思えるのは、そうした先輩たちの功績でしたり、人材としてのすばらしさでしたり、そういうことに触れるというのはすごく子どもにとっては大きいなというふうに思っております。

そういう意味では、この間、市民マラソンのときに野田首相の代理という方がおいでになられて、野田首相は二宮中学校の出身なんだというふうなことが、ごあいさつの中に入っていました。ぜひ船橋市にゆかりのあるそうした力のある方たちのことについても、私たちが遠慮せずにしっかり発掘をして、子どもたちに伝えていく、そうした仕事をしていくことはとても大事ななというふうに思いました。

翌日は松山市にございます子規記念博物館や坂の上の雲ミュージアムというところに行かせていただきましたけれども、10年以上前から市を挙げてフィールドミュージアム構想といって、まち全体にさまざまな博物館ですとか文化財の拠点を設置して、そこに観光客を集めて資源として生かしていくまちづくりというのをずっと構想してやってきて、平成21年ぐらいに形になってきて、

今年23年ですので、本当にまちもきれいですし、それからどこに行ってもやっぱりその文化をとて大事にしながら、教育活動にも十分生かしていくということが伝わってきて、そうした長い目でしっかりしたまちづくりをベースにした教育資源の開発というのは、とても学ぶところがあるなというふうに思っていました。

市長部局と教育委員会がものすごくちゃんとリンクをして、そうした事業も展開させていっているということと、松山市の教育長にもお会いしたんですが、市長は教育にかかるお金は一切削らないと言って、財政もそうゆとりがあるわけじゃないけれども、教育に関してはしっかりと財政的な基盤も保障されて、市として19事業を展開しているということでご説明をいただきました。

いじめに関してもそうですし、それから学校適応の対策に関してもそうですし、先ほどお話ししたふるさと松山学というんですけれども、松山にゆかりのある人たちに対する学習ということに関してもそうですが、やっぱり着々と続けているんですね。それは担当する人もつながっていて、事業としてかなりしっかりした形でできあがるころまでつないでいるということがやっぱり大きいなというのを見てまいりました。もし私たちが、船橋市の子どもたちのために、船橋市民のためにも、そうした形でいろいろふるさとにあるものを使ったサービスの提供というようなことができなければ、ここに暮らしていることが誇りになり、とてもすてきなことだなと、そんなことをいろいろ感じながら回りました。本気で大人がやっているというのは子どもにとっては大事なことです。本当にそれは感じてきました。

ほかの委員の方からも感想などがあればどうぞ。

#### 【篠田委員】

中原委員もおっしゃいましたけれども、みんなが自分の地域、まちに誇りを持てるような、山本先生がよく日本人に誇りを持つようなとおっしゃいますけれども、船橋の子どもたちも自分たちの地域に誇りを持っていけるように大人たちが一生懸命船橋のすばらしいところを探し出して、それをまた子どもたちに伝えていって、成長した子どもたちもまたそれを次の世代につなげていこうにしていっていただきたいです。松山というまちにみんなが誇りを持って、偉人もたくさん出ていますけれども、そういうのがうらやましいなということを非常に感じました。

教育というものは一つのまちづくりだと思います。船橋はまだまだまちづくりの部分では遅れているところがありますけれども、教育行政が市長部局などと連携しながら、教育というのはまちづくりにつながっていくんだという、そういう意識を持ってやらなければいけないなというふうに感じました。

#### 【山本委員】

松山出身の人と船橋で知り合って、何でこんなに松山のことに誇りを持っているんだと思っていたんですけれども、実際に行ってみて本当によくわかりました。本当にそういうふうなことを身をもってたたき込まれているといいですか、自然発生的にそういうのが出てきているんでしょうけれども、我々も船橋で生まれてよかったとか、船橋で育ってよかったということを言えるような子どもたちを育てられればいいなと思いました。

**【委員長】**

ありがとうございます。

**【石坂委員】**

松山市の印象ですけれども、お城が市の中心部にまずあってまちが広がっているという景観がすばらしくて、子規の記念館ですとか坂の上の雲ミュージアムですとか、そういったものもあります。さらに温泉もあるということで、まちとして活気があって、各委員がおっしゃったとおり、まちに愛着と誇りを皆さんが感じているなという印象でした。

言葉とか道徳とか文化というのを本当に大切にされていて、そういったことは教育委員会のいろんな事業からも伝わってくるんですけれども、ものとかではなくて心とか言葉とか、そういうソフトの部分を大事にし、事業が行われているなと感じました。船橋市でもまだまだできることがたくさんあるので、そういうものもお伝えしていきたいと思います。

**【委員長】**

よろしいですか。

**【委員長】**

翌週でしたか、若松小中の公開研究会があったので、私、船橋市の学校の授業も見せていただいて、やっぱり学校の雰囲気って随分違いますね。松山は年齢の高いというか、ベテランの先生方がかなりたくさんいて、若い先生はほとんどいらっしゃらないという状況でした。若松は若い先生方がどんどん伸びていって、これからの学校を支えていくんだというようなところでしたので、そういう意味でも2つを比べても大分状況が違うところがあると思うんですが、そういう若い方たちが誇りを持って子どもたちにきちっと郷土の歴史ですとか文化を伝えていくことをどうやってバックアップしてあげたらいいのかなということも感じてまいりました。いろいろ学ばせていただいてありがとうございます。事務方、コーディネートいただいてありがとうございます。

**【事務局】**

先ほどの委員長からお尋ねがございました臨時代理の報告第7号から報告第9号に関する意見聴取の市長への回答の期限の件です。調べましたところ、11月15日が回答期限となっております。

**【委員長】**

ありがとうございます。よろしいですね。それでは、審議を終了させていただきます。

これで教育委員会会議11月定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。